



HONGO PRESS



# ベトナム人 技能実習生 新しい仲間 半年後わが社に

## 現場代理人を越派遣 第四期生三名を選抜

経済成長著しいベトナムへ。五月、ベトナムの首都ハノイへ本社より三名を派遣し、技能実習生の採用面接をしてきました。本郷工業では2014年より毎年、ベトナムから技能実習生を受け入れてきました。今回は第四期生の選抜となります。社員三名は現地の日本語や技能実習の授業を見学後、面接を実施。優秀な若者三名を選抜しました。選ばれた三名は、さらに半年間、現地で日本語や日本文化、生活習慣などを学び、半年後の来日に備えます。半年後、さらに成長した彼らが元気な姿でわが社にやってきてくれることを期待し、日本側でもしっかりとした態勢で彼らを仲間として受け入れたいと思います。



(写真中央) 作業着姿の三人の技能実習生候補者たち。  
(場所：ベトナム・ハノイ) ここで半年間日本語の勉強をした後、本郷工業の仲間になります。

### 現場で日本語を学ぶ 技能実習生たちの授業を参観



面接に当たり、現場代理人三人は現地で日本語を学ぶ技能実習生候補者たちの授業も参観しました。教室には約20人の若者たちが熱心に日本語を学んでいました。

彼らは将来、日本を訪れ、高度な技能を習得し、これから発展していくベトナムの力になっていきます。本郷工業の仲間となる三名の候補者たちも大切なベトナムの財産です。そのことを忘れず、ベトナム社会の貴重な人材として育てていく責任の重さを感じる機会となりました。

### 現場代理人が候補者の家庭を訪問



本郷工業本社からは現場代理人の安達本部長、深田、谷口の三人がベトナム現地を訪れました。面接後には今回、第四期生として選抜された技能実習生の家庭を訪問。候補者の家族に三人は笑顔で迎えられました。

現場で技能実習生と一緒に仕事をする現場代理人が、きちんとご家族に会うことで、本郷工業を知ってもらい、安心して日本に送り出してもらえることに繋がります。このように環境を整えていくことで、候補者自身も安心して、この半年間、しっかりと日本語を学び、元気な姿で半年後に来日してくれるものと考えます。

### 技能実習生とは

最長三年の期間において、技能実習生が雇用関係の下、日本の産業・職業上の技能等の修得・習熟をすることを内容とする制度。技能実習生へ技能等の移転を図り、その国の経済発展を担う人材育成を目的としたもので、我が国の国際協力・国際貢献の重要な一翼を担っています。本郷工業では、これまで三期計九名のベトナム人技能実習生を受け入れてきました。第一期生は間もなく、実習期間を終了しベトナムに帰国する予定です。



Hongo Industry Co.

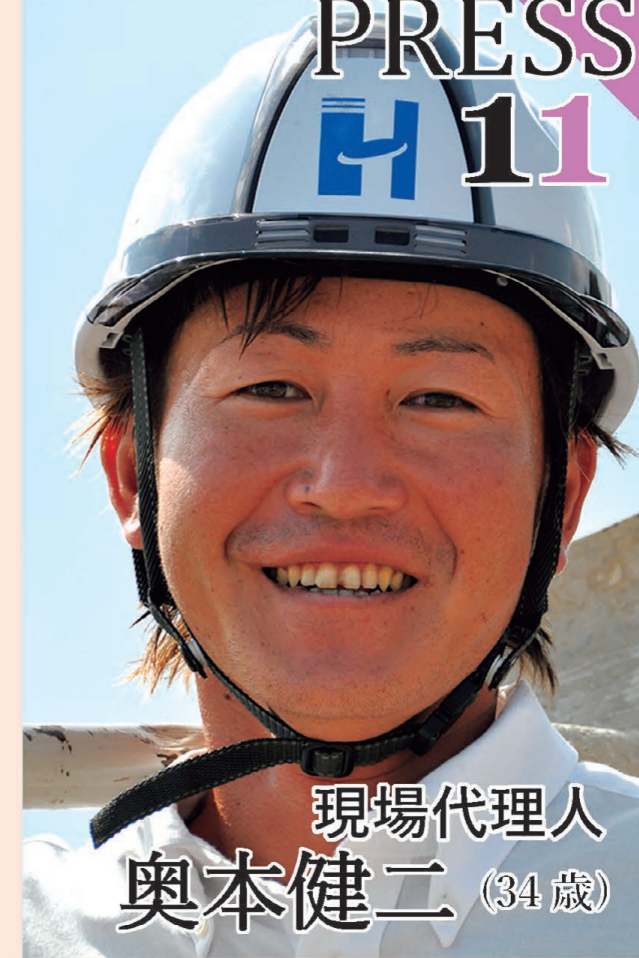
有限会社本郷工業  
[草津施工管理本部]  
〒520-0058 滋賀県草津市野路東 6-3-4 プレジオ 3 1F  
TEL.077-566-8200 FAX.077-566-2234

[近江八幡営業所]  
〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町 206-23 プレジオ 5 5F  
TEL.0748-43-2117 FAX.0748-43-2118

MAIL.hongo@pop.biwako.ne.jp HP.www.hongou-i.jp







現場代理人  
奥本健二 (34歳)

# 不安より自分の挑戦を

## 仲間と切磋琢磨 熱い心に

三十歳を超えて、本郷工業に入った。若い会社において現場代理人12人中三番目に社歴が浅い。入社前、運送会社で22歳から九年間、四トントラック運転手をしてきた。マイペースな性格で、自分一人の時間が好きだった奥本には、トラック運転手の仕事は快適だった。「二人で気楽。色んな場所に行けて楽しかった」。しかし、走るルートで決まる給与体系の中間給与は頑張ったから増えるものではなかった。30歳を前に、「このままでは十年後も同じ収入。これではだめだ」。危機感を抱いた。「頑張ったら、その分だけの給与を得られる仕事」を探した。地元で友達に相談した。

### 力仕事、続ける自信がない

友達の中に、本郷工業で社長の右腕として活躍していた小学校からの幼馴染がいた。現マネージャーの田坪聖二郎だった。その縁で本郷工業のことも知っていた。誘われるまま本郷工業で働き始めた。正社員ではなく、パートナーワーカー（契約社員）をあえて選んだ。理由は、高校



毎週4時起きで、朝のビジネス交流会に参加し、ビジネス力を磨いている。

時代の土木作業のアルバイトをしたときに抱いた「雨の日も、暑い日も、雪の日も、外での力仕事。一生この仕事を続ける自信がない」という不安だった。その仕事を三十歳過ぎて始める。「正社員になって途中で『しんどいから辞めます』となれば、誘ってくれた友達の顔に泥をぬることになる。だから契約社員の道しかなかった」と振り返った。

### 頑張れば、きちんと評価される

しかし、そんな不安は杞憂に終わる。契約社員として働く中で、本郷工業の会社の在り方に興味をかき立てられた。現場代理人は☆、☆☆、☆☆☆とステータジを上げることで、職責、給与が違った。現場代理人として目標を持ち、生き生きと働いている仲間の姿に、この会社で働くことの魅力を感じた。「ここなら、頑張った分だけ評価される。正社員になって勝負しよう」。働き始めて半年後、正社員となった。

### 現場やり切った達成感

「一日も早く現場代理人に」。入社から一年二ヶ月、現場代理人の安達健太（現本部長）、深田千春の元で経験を積み、奥本は現場代理人に昇格した。昇格して一年八ヶ月、現場代理人の責任の重さと仕事の楽しさを感じていく。「補佐は常に現場代理人に守られているから、仕事に専念できる」。現場代理人は行政申請から業者選定、資材発注、納品、顧客開拓に対応まで全てに責任を負う。「業者さんとのやり取りは先方の都合もあるので調整には、今でも一番気を遣います。ここで狂えば、みんなに迷惑をかけますから」。現場ごとに必ずいろいろな困難や問題は起きるといふ。それだけに「何があっても、やまない雨はない」と思って常に現場と向

### 自分との闘いの先に

き合っている。一つの現場をやり切ったときの達成感はまだない。今では副本部長として社内イベントの責任者だ。恒例の家族感謝祭を盛り上げるべく精力的だ。「私も早く温かい家庭を持ちたいですね」と笑う。今は☆☆が目標だ。

奥本の話に出てくる本郷工業での充実した日々は、仕事だけではないようだ。本郷智也社長はじめ、多くの現場代理人が、忙しい仕事の合間を縫ってマラソンに挑戦している。6時間13分。昨年12月、奥本は三度目の挑戦で初めてマラソンのゴールを切った。タイムリミットまで残り二分だった。「二度目までは練習もしていないのに完走できるはずもない」



### プロフィール

1982年10月8日生  
出身地 京都府久御山  
地元の滋賀県草津市で育ちました。仕事充実の独身生活をお歌っています。☆☆現場代理人が目標。今期は副本部長として頑張っています。  
社歴  
パートナーワーカーとして本郷工業の仕事を始め、半年後の2014年8月本郷工業の正社員に。補佐として一年二ヶ月。2015年10月、現場代理人に就任し、現在に至る。☆(ワンスター)。

### 家族大感謝祭

夏と年末の年二回、本郷工業の社員が日ごろの感謝を込めて、自分たちの家族と関係者やその家族を招いて開くイベント。家族の前で社員を表彰するほか、家族に向けてのメッセージビデオを流して、感謝の気持ちを伝える。「家族を大切に」を第一に置く本郷工業にとって、従業員の結束を強くし、従業員が仕事の原点を振り返ることができる大切なイベントだ。

奥本くんに彼女を紹介しよう月間

クールで熱い男です。本郷工業では奥本くん「かわいいい彼女」を募集しています。❤️  
気立てのいい独身女性がおられたら、ぜひお声がけください。

The key person for Kenji Okumoto

田坪聖二郎 (34) 近江八幡営業所 兼現場代理人マネージャー

代理人になってから、自ら考えて仕事を採配している姿に、「変わったなー」と感心しています。また、昨冬はマラソン三度目の挑戦で完走したことで、仕事ぶりにも自信が出てきている。一日も早く☆☆代理人になれるよう期待しています。幼馴染として言いたいのは、早く嫁を見つけて家庭を持ってほしい。家族ぐるみの付き合いをしたいので。同じような年の取り方しようぜ、と言いたい。誰か、奥本にかわいい彼女（お嫁さん候補）を紹介してください。

NEXT PRESS

趣味はウェイクボード！一級小型船舶免許を持っている吉村保友 (37) です。次号をお楽しみに！

HONGO PRESS とは

「人こそ会社の財産、文化、未来」これは弊社の信念です。縁あって弊社で働いている社員ひとり一人の姿、人となりをみな様に紹介することは、弊社の姿をみな様に知っていただくことと同じです。その役割をこのプレスは担っています。

筆者紹介:住田崇(すみだ たかし) 元京都新聞記者。 民泊管理運営代行・WEB制作会社 (株)スタートレック KYOTO 代表取締役。京都市在住。